

講義名	経営戦略論 A			授業形態	
担当教員	青木 良三	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

### 主題と概要

- ・本講義の主題は、経営戦略論の概要を解説することにあります。理論のみならずケースもたくさん紹介しますので、理論と実際のビジネス界の出来事をバランス良く学習できる内容になっています。
- ・本講義は、経営戦略のうち的事業（競争）戦略と機能別戦略について解説します。なお、全社（企業）戦略については、経営戦略論Bで行います。
- ・本講義のレベルは、入門書レベルに一部中級レベルの話が加わります。

### 到達目標

- 学生は、本講義を学習することによって、企業に関する新聞記事を読んだり、ニュースを聴いて経営戦略的な観点から企業行動を評価し、説明することができるようになります。
- 学生は、本講義を学習することによって得られた経営戦略論の知識を使って、初歩的なビジネス・プランを作成できるようになります。
- 学生は、企業経営の仕組み、とくに経営戦略を、理論に基づき、自ら考え、理解することができるようになります。

### 提出課題

- ・「中間レポート」、「期末レポート」として、後期中にレポート提出を2回求めます。
- ・授業の理解度を確認するための課題を予定しています。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- ・レポート課題や質問について、講義の際にフィードバックしますが、内容に応じて講義連絡や質問者に直接電子メールでフィードバックします。

### 評価の基準

- ・中間レポートと期末レポートの得点合計により成績評価します。  
配点は、中間レポート40点、期末レポート60点で、合計100点満点になります。
- ・中間レポートは、4月末に告知、5月末頃締め切りの予定。
- ・期末レポートは、6月中旬に告知、7月中旬に締め切りの予定。
- ・成績評価方法を変更する場合は、すみやかに連絡します。

### 履修にあたっての注意・助言他

- ・レポート提出や講義資料のダウンロードは、キャンパスクロスを通じて行ってください。
- ・私語等によって他の受講生に迷惑をかける学生には退出を命じます。その指示に従わない場合は、減点します。

### 教科書

・「使用しない」。

### 参考図書

・「なし」。

### その他

- ・キャンパスクロスから資料を配布します。教科書、参考文献がないので、必ず事前に資料を読んでおくようにしてください。

### 授業計画

1. 経営戦略の体系
2. マイケル・ポーターのポジショニング理論と3つの基本競争戦略
3. 競争戦略 コストリーダーシップ戦略（規模の経済と経験効果）
4. ケーススタディ 日本マクドナルド
5. 競争戦略 差別化戦略（市場の細分化）
6. ケーススタディ ネスフードサービス
7. 競争戦略 集中戦略
8. ケーススタディ アスクル
9. 競争上の地位と戦略パターン
10. プロダクトライフサイクルと戦略
11. 機能別戦略 生産戦略
12. ケーススタディ トヨタ自動車
13. 機能別戦略 マーケティング
14. ケーススタディ マーケティング
15. ケーススタディ 資生堂

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・予習は、配布した資料をしっかり読んでおいて下さい。経営学の用語を中心に意味を理解しておけば十分です。
- ・復習は、授業で配布された資料を読んで分からないところがないか確認して下さい。分からないときは私に尋ねて下さい。
- ・予習に2時間、復習に2時間を目安にしてください。

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- ・本授業を履修することにより、経営理論や事例を理解することで、情報収集力、情報分析力、課題発見力、課題解決に向けた構想力といった能力が身につきます。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- ・レスロンを使用する場合は、事前に講義連絡します。

### 実務経験の有無及び活用

- ・実務経験あり。1979年から1997年まで銀行に勤務。産業調査や融資、ファンド運用を担当しました。授業で取り上げる企業の事例について、企業分析の実務経験を踏まえたコメントをすることができます。新聞記事の解説以上のコメントができると思います。

### 備考

- ・講義について不明な点は、公開された電子メール（ryo\_ozaki@red.umds.ac.jp）で対応します。